

登校再開に向けてのお願い

学校内で感染拡大を防ぐためには、何よりも外からウィルスを持ち込まないことが重要です。一日も早く元の学校生活を取り戻すために準備を進めているところでありますが、現状ではまだ元通りの生活に戻すことは大きなリスクがある状況です。

学校を再開するにあたり最大限リスクを低減できるように配慮し、安心・安全な学校生活が送れるよう、できる限りの体制を取りながらお子様の様子を見守りたいと思います。ご家庭におかれましてもご理解とご協力をお願いいたします。

①登校前の検温と健康観察表の記入

毎朝必ず検温、健康観察を実施し、健康観察表に記録をお願いします。健康観察表は登校時必ず携帯させてください。

朝の時点で発熱等かぜ症状のある場合は、無理はせず、自宅療養をお願いします。

【発熱等かぜ症状の定義】

微熱・発熱以外に咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、匂い味がしない、頭痛、関節痛、下痢、嘔吐等、平常と異なる体調が見られる場合

※いつもと違う体調不良の症状が出現したらその時点で学校を休み、医療機関（かかりつけ医）に電話で相談し、（いきなり受診しない）医療機関に指示をもらってください。

②マスクの着用

各ご家庭でマスクを用意し、毎日の着用をお願いします。また、予備用のマスク、マスクを外した際に入れる布またはビニール袋もご用意ください。

③ハンカチ・ちり紙の携帯

基本的感染予防は、こまめな手洗いとなります。こまめな手洗いを実施していきますので、手洗い後のケアの為のハンカチは必ず携帯させてください。手あれが酷いお子様にハンドクリームなどを持たせたい場合は、ご家庭で適宜ご判断いただいて結構です。

④早退の対応について

今後暫くは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、少しでも熱がある場合や普段とは様子が違うと判断した場合は、保健室での休養や様子見をせずに早退をお願いしたいと考えています。腹痛も、下痢を伴う腹痛がある場合は早退対象とさせていただきます。早退の際は必ず保護者の方に連絡し、相談させていただきます。

※判断に迷う場合も含めて、無理をして登校した場合、生徒の負担になってしまうこともあるため、大事をとっていただけると良いと思います。出来る限り、無理な登校は控えてください。早退する場合は、状況によってお迎えが必要になります。なお、学校から緊急連絡先に連絡をすることがありますので、お子様とその日の緊急連絡先を共有しておいてください。

【問合せ先】

東京都立小山台高等学校

担当 副校長 青木 正信

保健部主任 岩田 安史

主任養護教諭 村上 文良

電話 03(3714)8155

